

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回策定部会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
項目1 あなた自身のことやご家庭のことについて			
1	あなたの性別は。		
2	あなたの年齢は。		
3	あなたが一緒に暮らしている人についてお答えください。		
3-1	一緒に暮らしている人はどなたですか。あなたからみた続柄でお答えください。		
3-2	一緒に暮らしている人の年齢や属性を教えてください。	学校に行っていない子や通信制の学校、特別支援学校に通っている方を考慮し、属性を記載せず年齢のみ記載するのはどうか。	義務教育の対象となる年齢までについては、各施策の対象が属性ごとに分かれることが多いため属性にて記載し、それ以降の対象は年齢で記載する内容に修正。
4	現在の住まいは、次のどれにあてはまりますか。		
5	現在の住まいには、何年間お住まいですか。		
6	あなたはどちらの地域にお住まいですか。		
7	あなたの世帯の主な収入についてお答えください。		
8	あなたの生活の経済的な状況について、どのように感じていますか。		
項目2 相談や情報の入手などについて			
9	日常生活で困っていることや不安なことはありますか。	身寄りのない高齢者、身寄りはあるが親族と疎遠な高齢者が選択できるような回答を追加するのはどうか。	・回答項目11「何かあったときに頼れる親族がいないこと」を追加 ・回答項目10「(財産管理や保証人が必要な手続き等があったときに、)頼る親族がいないこと」を「頼る人がいないこと」に修正
10	あなたは、日頃、くらしや健康・福祉のことで相談できる相手はいますか。		
11	あなたは、くらしや健康・福祉に関わる相談窓口(相談先)として、知っているものや、利用したことがあるものはありますか。	回答項目に子育て支援センター、けんりサポートすいたを追加	・回答項目に「4.子育て支援センター(子ども発達支援センター、すこやか親子室、家庭児童相談室)」「20.けんりサポートすいた」を追加 ・「15.こども発達支援センター」は回答項目4に統合したため削除
12	あなたやご家族は、福祉のことで問11の相談窓口(相談先)に相談した結果、いかがでしたか。	設問を第1回策定部会時点の設問(解決できたかどうかを問う内容)に戻して前回の策定部会での発言通りの回答項目にしてほしい。 問12-1で解決できなかった相談内容を記述していただくことで、たらい回しにされたケースを把握し、重層的支援体制整備事業や受けとめ隊の参考にできるのでは。	回答項目を「1.(困りごとや悩みが)解決した、解決の方向に向かった」「2. 解決の方向に進まなかった」「3. ほかの相談窓口(相談先)を紹介されることが続いた」に修正 回答項目2と3を選択した方に相談内容を記載いただき、重層的支援体制整備事業の施策を進めるうえで参考にする
12-1	どのようなことを相談したときにしっかり聞いてくれなかったですか。具体的にご記入ください。	設問を第1回策定部会時点の設問(どのような内容を解決できなかったか)に戻してほしい。	問12の設問を「その時の相談窓口(相談先)の対応はどうでしたか」に修正
13(1)	あなたはくらしや健康・福祉に関する情報を何(どこ)から得ていますか。(市が発信する情報)		
13(2)	あなたはくらしや健康・福祉に関する情報を何(どこ)から得ていますか。(地域団体や地域住民が発信する情報)		

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回策定部会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
項目3 ご近所付き合いについて			
14	あなたの世帯では、日頃、隣近所の方とどのような付き合いをしていますか。		
14-1	問14で「1.くらしのことで話し合ったり助け合っている」「2.世間話をする」と回答した方にお聞きます。そのように付き合いしている理由は何ですか。		
14-2	問14で「3.あいさつをする程度」「4.ほとんど付き合いがない」と回答した方にお聞きます。近所付き合いが難しい理由は何ですか。		
項目4 地域で暮らす中での問題などについて			
15	あなたが地域で暮らす中で、福祉について、日頃、気になっていることは何ですか。	回答項目に身寄りのない高齢者を入れてほしい。 回答項目に「福祉サービスの担い手不足」を入れてほしい。	・回答項目18に「身寄りのない高齢者」を追加 ・高齢福祉室が実施するアンケート調査に同様の設問を用意しており、そちらのアンケートから現状を把握する予定
16	あなたが地域で暮らす中で、地域住民の交流について、日頃、気になっていることは何ですか。		
17	あなたが地域で暮らす中で、くらしや健康・福祉に関する制度や施設・サービスについて、日頃、気になっていることは何ですか。	回答項目に「福祉サービスの担い手不足」を入れてほしい	高齢福祉室が実施するアンケート調査に同様の設問を用意しており、そちらのアンケートから現状を把握する予定
18(1)	あなたは、地域で力を合わせて安心して暮らすために、どんな取組が必要だと考えますか。 (住民が主体的に取り組むことは。)		
18(2)	問19の選択肢の中で、あなたは、どのようなことができそうですか。		
18(3)	(市役所などの行政が主体的に取り組むことは。)		
項目5 地域活動やボランティア活動について			
19	あなたの世帯では地域の自治会に加入していますか。		
19-1	問19で「1.加入している」と回答した方にお聞きます。加入してよかったことは何ですか。	過去の調査項目との継続性を重視し、4次の際と同様に加入する理由、しない理由を入れてほしい。	加入している理由については、3次計画及び4次計画策定時の調査結果で「特に理由はない・知らない」が3割を超えていること、他の調査(市政モニタリング調査)にて経年比較が可能であることから、より回答が得られやすくなることを重視して前回会議の設問案から修正せず。 加入していない理由については、問19-3で聞いているため前回会議の設問案から修正せず。なお、4次計画策定時から回答項目の順番については市政モニタリング調査を参考に修正しているものの経年比較が可能。
19-2 (新設)	問19で「1.加入している」と回答した方にお聞きます。加入して課題だと感じたことは何ですか。		
19-3	問19で「2.加入していない」と回答した方にお聞きます。その理由は何ですか。		

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回策定部会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
20	あなたは今、地域活動に参加したり、取り組んだりしていますか。		
20-1	問20で1から16のいずれかに回答した方にお聞きます。参加してよかったことは何ですか。		
20-2	問20で「17.参加していない」と回答した方にお聞きます。地域でどのような活動(居場所)があれば参加してみたいですか。	過去の調査項目との継続性を重視し、4次の際と同様に参加していない理由を入れてほしい。	参加していない理由については、4次計画策定時の調査結果(3次計画時は設問なし)で「特に理由はない」が2割(回答項目中2番目に多い)を超えていることから、問19-1と同様、より回答が得られやすくなることを重視して前回会議の設問案から修正せず。また、どのような活動(居場所)に参加してみたいかを聞くことで、今後居場所づくりに関わる施策を検討する際に参考にとけると判断。
21	地域活動に参加しやすくするために必要なことは何だと思えますか。		
22	あなたは、現在、福祉ボランティア活動に参加したり、取り組んだりしていますか。		
22-1 (新設)	問22で「1」～「11」のいずれかに回答した方にお聞きます。参加してよかったことは何ですか。		
22-2	問22で「12.参加していない」と回答した方にお聞きます。地域でどのようなボランティア活動があれば参加してみたいですか。	過去の調査項目との継続性を重視し、4次の際と同様に参加していない理由を入れてほしい。	参加していない理由については、3次計画及び4次計画策定時の調査で結果が同様(「参加する時間がない」「知る機会がない」「健康面・体力への不安」の合計が回答数の約8割を占めており、回答が多い順番も同様)であり変化が見込みにくいこと、問19-1、20-2と表記を併せることから、前回会議の設問案から修正せず。また、問20-2同様、居場所づくりに関する施策を検討する際に参考にとけると判断。
項目6 社会福祉協議会やコミュニティソーシャルワーカー(CSW)について			
23	市内に社会福祉協議会が設置されていることを知っていますか。		
24	社会福祉協議会の取組として知っているものをあげてください。	施設連絡会の回答項目を元に戻してほしい。	回答項目を追加
25	あなたは、社会福祉協議会にCSWが配置されていることを知っていますか。		
26	CSWに今後どのようなことを期待されますか。		
項目7 民生委員・児童委員について			
27	あなたは、地域住民の中から選ばれた、住民の見守り活動や福祉・子育てに関する相談活動を行う民生委員・児童委員がいることを知っていますか。		
28	民生委員・児童委員の活動で、あなたは特に何を充実してほしいですか。		

吹田市民の地域福祉に関する実態調査 第2回策定部会における指摘事項及び検討結果一覧

問		指摘事項	検討結果
項目8 成年後見制度について			
29	あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。		
30	あなたは将来、財産の管理や契約の手続きについて、自分ひとりで判断することが難しくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいですか。	利用したいか、したくないかわからない人もいると思うので、選択肢に「わからない」を追記した方がよいのではないか。	回答項目に「3. わからない」を追加
30-1	問30で「1.利用したい」と回答した方にお聞きします。財産の管理や契約の手続きをしてくれる「成年後見人」は誰になってもらいたいですか。		
30-2	問30で「2.利用したくない」「3. わからない」と回答した方にお聞きします。その理由として、あなたの考えに近いものは何ですか。	①回答項目1「制度を使わなくても家族や親族がいるから」と記載すると家族や親族が預貯金を引き出せると認識されてしまうのでは。説明書きが必要。	回答項目の下部に注意書きを追記
31	あなたの周りで、財産の管理や契約の手続きについて、自分ひとりで判断することが難しい方がいた場合、どこに相談しますか。もしくはどこに相談するように伝えますか。		
32	成年後見制度をより多くの方に知っていただくために、次のどの方法で周知すると効果的だと思いますか。		
	吹田市権利擁護・成年後見支援センター「けんりサポートすいた」を知っていますか。	問11と統合できる。	問11に統合し、設問は削除
項目9 災害から生命を守る取組などについて			
33	防災に関する取組や情報について、あなたが知っているものはありますか。		
33-1	問34で「3.災害時要援護者支援制度」と回答した方にお聞きします。「災害時要援護者」への支援を進めるうえで、優先すべき取組は何だと思えますか。		
項目10 再犯防止の取組などについて			
34	再犯防止に関する民間協力者や取組で、あなたが知っているものはありますか。		
35	再犯や再非行を防止するためにどのようなことが必要だと思いますか。		
36	あなたは、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思えますか。		
36-1	問37で「1.思う」または「2.どちらかといえば思う」と回答した方にお聞きします。どのような協力をしたいと思えますか。		
36-2	問37で「3.どちらかといえば思わない」または「4.思わない」と回答した方にお聞きします。協力したくない理由は何ですか。		
36-3	国や府、市など行政に対する要望や意見、この調査に関する意見などをお聞かせください。		